

豊富なアイデアで地域活性化
地域おこし協力隊 活動報告会

2月19日、地域や行政と協力しながら、各々が持ったスキルを生かし、地域活性化に向けた取り組みを行う『地域おこし協力隊』の活動報告会を行いました。

本市で活動する8人の隊員のうち、この日は3人の隊員が活動を報告。文化・スポーツ振興事業に係る取り組みや移住促進・関係人口の創出に係る取り組み、ふるさと納税の返礼品の充実など、各隊員が自身の地域活性化に資する取り組みを披露したほか、報告後には参加した市職員との意見交換を行い、隊員と市職員の結束力を高めました。

2/19



▲若山浄化センターを見学する参加者



▲登別市地域クラブの運営支援や文化・スポーツ振興事業などについて報告する地域おこし協力隊の岡田航汰さん

登別の気象の変化を学ぶ
2024 登別ときめき大学最終講座

3月2日、市は市民会館で登別ときめき大学の最終講座を開講しました。

体験入学会を兼ねたこの日は、朝の情報番組で長年お天気キャスターを務め『お絵かき気象予報士』として知られる清水秀一さんを講師に、近年の室蘭地方の100年間の平均気温の変化や桜の開花時期、大雨災害への備えなどをイラストを交えながら話し、参加者はイラストを楽しみつつ講話に聞き入っていました。

同大学は年齢や性別を問わずどなたでも参加できます。詳しくは市公式ウェブサイトをご覧ください。

3/2



▲おなじみのイラストで分かりやすく説明する清水さん

登別の魅力、再発見
令和6年度市民見学会

2/13

2月13日、市内にある施設などを見学する『令和6年度市民見学会』（市主催）を開催しました。

施設見学を通し、市の取り組みへの理解を深めることを目的に開催しているこの見学会に、今年は17人が参加。登別温泉浄水場、幌別東小学校、若山浄化センター、パロマ北海道工場の合計4施設を巡りました。

また、昼食時には市長と『市役所現庁舎の思い出作り』について意見交換。市民ならではの視点でさまざまなアイデアが出され、参加者は「貴重な経験ができて、有意義な一日になった」と笑顔を見せました。



▲力いっぱい綱を引く子どもたち

白銀のゲレンデで大はしゃぎ
カルルス温泉冬まつり

3/1

3月1日、カルルス温泉サンライバスキー場で『カルルス温泉冬まつり』（同まつり実行委員会主催）が開催されました。

イベントは『雪中みかん拾い』から始まり、ビニールボールを使って玉投げ・ゴルフを行う『ストライクワン』『ホールインワン』が続くと、会場は大盛り上がり。その後、子どもたちと湯鬼神による『綱引き対決』が行われました。手加減のない湯鬼神たちに連敗する子どもたちでしたが、最後には湯鬼神3体を助っ人に加え、合同チームで見事対決に勝利すると、参加者は歓声を上げていました。